

研究開発マネジメントと

★演習付き★

未来洞察を活用した新規事業テーマ創造

◆日時：2025年4月16日(水) 10:30～16:30

◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円

・2名同時にお申し込みされた場合、2名目は無料(2名で55,000円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門
 未来デザイン・ラボ シニアマネージャー 石野 幹生 氏
 <ご専門>
 未来洞察、デザインリサーチおよび、それらに基づくイノベーション創発支援

【受講対象】

・中長期的な研究開発戦略・新規事業戦略を推進することが求められるメーカーの、研究開発部門・新規事業開発部門・経営企画部門の部門長、グループ長、リーダーなど

【講座の趣旨】

技術経営の目的は企業の収益の向上に貢献するべく自社の技術(あるいは技術関連部門)の価値の最大化を図ることです。今の閉塞感あふれる日本にとって、時代の要請は、イノベーションマネジメント領域と考えるのが自然でしょう。しかしながら近年、研究開発テーマや新規事業テーマの創造に関して、「社員から斬新なテーマが出てこない」「既存事業の延長線上のアイデアになりがちである」といったお悩みやご相談をいただく機会が増えており、従来とは異なる観点からの機会探索とテーマ創造のニーズが増大しています。

本講座では、「未来洞察」をイノベーションマネジメントに活用している企業の事例を交えて解説したうえで、テーマ創造のプロセスに沿って、「未来洞察」を活用した機会探索とテーマ創造の方法について紹介していきます。

「未来洞察」は、「非連続な未来からインスピレーションを得て、中長期的経営・事業戦略策定や新規事業創造に活用する」ことに適したアプローチです。「未来洞察」をツールとしてうまく活用できるようにするために、本講座では、参加者同士の対話や演習を交えながら、実践知(コツ)を体験することで、理解を深めて頂ければと考えています。

【習得知識】

- ・経営施策としてのイノベーションマネジメントの要諦
- ・未来洞察を活用したテーマ創造から事業化までの具体的な進め方と要諦

【プログラム】

- 1.未来洞察を活用したイノベーションマネジメントの企業事例とポイント
 - 1.1.未来洞察が用いられる背景
 - 1.2.グローバルカンパニーの取り組み事例
- 2.「未来洞察」を用いたテーマ創造
 - 2.1.未来洞察を用いたアイデア創造・機会領域の導出【演習含む】
 - 2.1.1.未来洞察手法解説:「不確実な未来」をどのように導出するか?
 - 2.1.2.日本総研の支援事例
 - 2.1.3.事実や既存仮説の延長線上での「未来 이슈」設定
 - 2.1.4.スキヤニング手法を用いた「想定外社会変化仮説」設定
 - 2.1.5.強制発想法を用いた「機会領域」導出
 - 2.2.機会領域を起点とした研究開発テーマ策定
- 3.テーマの評価について
 - 3.1.評価システムの一般的な構造
 - 3.2.評価のプロセス
 - 3.3.評価項目
- 4.まとめ・質疑応答

『未来洞察【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>